

花と龍（1965）

メディア 映画
ジャンル 任侠・ヤクザ
製作国 日本
色彩 Color
時間 97分
初公開日 1965/11/20

【解説】
火野葦平の同名人気小説を「コレラの城」の田坂啓が脚色し「大喧嘩」の山下耕作が監督した。撮影は「新蛇姫様 お島千太郎」の古谷伸、音楽は「悶え」の三木稔がそれぞれ担当。「宮本武蔵 巖流島の決斗」の中村錦之助が実在の人物を演じ話題となった。
四国の山奥での生活に飽き足らなくなった玉井金五郎は、一旗あげるべく北九州にやってきた。男勝りの谷口マンに惹かれた金五郎は、彼女とともに彦島へ移り貯炭場で働き始める。昼休みに芸者の君香がマンの懐中ライターを譲ってくれと迫ったところを、仲仕仲間の森新之助が救った。だが新之助は吉田親分の子分たちに袋だたきにされてしまう。話を聞いた金五郎は親分のもとに向かうが、親分は意外にも頭を下げて詫びるのだった。新之助は見舞いに來た君香と相思相愛になり駆け落ちしようとする。そんな二人に金五郎とマンは自分たちの貯金を渡して逃がしてやった。やがて金五郎とマンは戸畑の永田組に移り、親分の代わりに采配をふるうようになるのだった。

【クレジット】
監督 山下耕作
企画 小川貴也
三村敬三
原作 火野葦平
脚本 田坂啓
撮影 古谷伸
美術 鈴木孝俊
編集 河合勝巳
音楽 三木稔
擬斗 足立伶二郎
助監督 原田隆司
出演 中村錦之助 玉井金五郎
佐久間良子 谷口マン
淡路恵子 Keiko Awaji 蝶々牡丹のお京
田村高廣 Takahiro Tamura 森信之助
月形龍之介 吉田磯吉
日高澄子 島村ギン
内田朝雄 金子甚兵衛
北川巧 甚兵衛の手代
源八郎 骨董屋の親爺
相原昇 中盆
宮園純子 君香

堀広太郎	中年男
天王寺虎之助	浜尾市造
神木真寿雄	清七
尾形伸之介	浜尾組ボーシン
佐々木松之丞	年配のゴンゾウ
原京市	見張りのゴンゾウ
土橋勇	ゴンゾウ
船越正雄	ゴンゾウ
畑中伶一	倉庫番
小田部通麿	大村組ボーシン
中山栄子	浜尾の妾
那須伸太郎	医者
波多野博	役人
疋田圀男	巡査
佐藤慶	友田喜造
三島ゆり子	鯉千代
澤村宗之助	山下松次
五里兵太郎	厚司男
近江雄二郎	安次
加藤浩	辰
大城泰	政
遠藤辰雄	ノ口甚
堀正夫	蝮一
結城哲也	蝮一の乾分
香川良介	大庭春吉
小松方正	平尾角助
中村錦司	六ゾロの源
遠山金次郎	城三次
菅原俊夫	中学生の俊次
江木健二	大川時次郎